

クルーズのワンストップ窓口

クルーズの動向

クルーズと聞くと、豪華客船で世界一周というような高価で長期間というイメージがあるかもしれませんが、カジュアルクルーズと呼ばれる低価で短期間のコースも組まれるようになっていきます。

クルーズは、広々としている、手荷物の量に制限がなく、部屋に置きっぱなしにできるなど移動手段としての利点があるのみならず、ホテル、レストラン、レジャー施設も兼ね備えたものであり、旅行の有力な選択肢になりつつあると言えるでしょう。

このような背景から、世界のクルーズ人口は大幅に増加しており、2010年は2,116万人で、2000年の1,030万人と比較すると、10年で2倍強となっています。また、アジアでも、経済成長とともにクルーズ人口が急増すると予想されています。

クルーズのワンストップ窓口の開設

我が国へのクルーズ船の寄港回数は、2012年に初めて1,000回を超えるなど増加傾向にあります。

クルーズ船の寄港は、多くの乗客が寄港地を訪れることによる大きな経済効果が見込めるなど、観光振興や地域振興につながることを期待されており、各地でクルーズ船誘致やクルーズ振興の取り組みが行われています。

一方で、クルーズ船社が我が国港湾への寄港を検討するにあたり、我が国の一元的窓口がない、あるいは寄港地の情報が不足しているとの声が寄せられました。

このため、国土交通省港湾局では、関係省庁等と調整を進め、平成25年6月3日に、同局産業港湾課内にクルーズのワンストップ窓口（クルーズコンタクト窓口）を開設しました。これにより、クルーズ船社等からの問い合わせに一元的に対応できるようになりました。

ワンストップ窓口開設後の取り組み

ワンストップ窓口に来た船社等からの問い合わせに対しては、関係行政機関との情報共有・連携を図り、適宜、本窓口または関係行政機関から回答を行っています。

また、本窓口を効果的に活用してもらうためには、クルーズ船社等にその存在を知ってもらう必要があるため、世界最大のクルーズ見本市である「クルーズ・ショッピング・マイアミ」など、機会をとらえて周知を図っています。

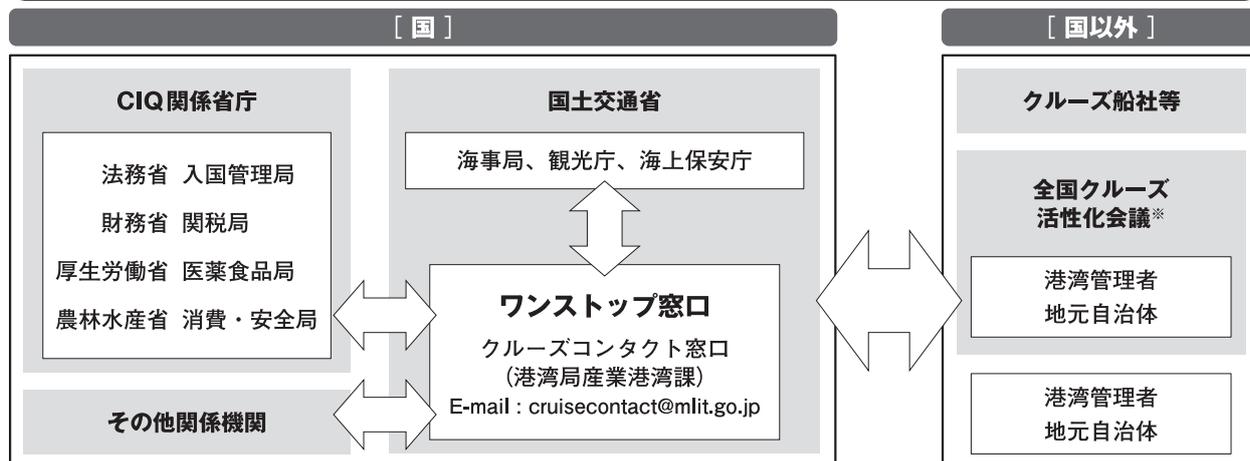
おわりに

ワンストップ窓口の設置は、クルーズの振興に向けた取組みの一環であり、この他にも、全国の港湾管理者等が参加し、全国レベルでのクルーズの振興・誘致を図る「全国クルーズ活性化会議」の活動支援、港湾施設の諸元や寄港地周辺の観光情報を発信するウェブサイト開設、クルーズ船の寄港増や大型化に対応した旅客船ターミナルの整備など、クルーズ船の寄港促進のためのソフト・ハード両面における環境整備を推進しているところです。

[参考]

- ・クルーズのワンストップ窓口ホームページ
(日本語) http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk4_000019.html
(英語) http://www.mlit.go.jp/en/kowan/kowan_fr4_000000.html
- ・全国クルーズ活性化会議ホームページ
<http://www.wave.or.jp/jcpa/index.html>
(港湾施設の諸元等の情報を提供しています)
- ・寄港地周辺の観光情報を発信するウェブサイト
(日本語) <http://www.mlit.go.jp/kankocho/cruise/jp>
(英語) <http://www.mlit.go.jp/kankocho/cruise/>

クルーズのワンストップ窓口



※クルーズの振興を通じて、地域振興等に資することを目的とした団体(全国の港湾管理者等99団体が参加)